

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2011.1
209

2011年卯年スタート

新年明けましておめでとございませう。

昨年は社員の皆様とその家族の方々のお蔭で順調に一年が過ぎました事に感謝申し上げます。

世の中の景気は良い所(会社)ばかりではなく、様々だと言つことを実感する新年です。我がイナテックはアイシンAW様という非常に素晴らしい強力なお客様に恵まれ、支えられている事は絶対に忘れてはならないことだと思っております。

2010年度のAW様の販売台数は526万台を達成される見込みで計画比で10% up、昨年度実績比ではなんと19% upに当たる台数となります。

ます。

だから社員の皆様も感謝の念を持っていただきたいと思ひます。

イナテックも今年の干支である卯(うさぎ)の耳の如くアンテナを高くし、タイムリ―且つ有用な情報を手し、オンリーワン技術に磨きをかける年にしたいと考えておりますので今年も宜しくお願いいたします。

いい本、みつけた！

昨年最終週の週刊ダイヤモンドで折り込み紹介されていた本です。

私が「イナテックの企業理念」『確かな技術と磨かれた心で社会に貢献』の説明の中で「おそうじ(毎朝の20分間清掃)」は社員ひとり一人の「心のおそうじ」なんです。気づく人間になってください。隣の人を気遣える人間(社員)になって下さい。・・・と毎回お願いしていることでもあります。(そんな時見つけた本です)

その本は

『なぜ「おそうじ」をすると人生が変わるの

か?』

(志賀内泰弘著 発行ダイヤモンド社)

です。実話をベースとした日本初の「おそうじ小説」好評発売中・・・とありました。私も購入し早速走り読みしました。その一端を紹介させていただきます。

【推薦の言葉】

日本を美しくする会 鍵山秀三郎

「ゴミを拾っていたら縁も一緒に拾っていた。その縁が運を拓いてくれた」

カレーハウスCOCO吉番屋 宗次徳二

「掃除をやり続ければ人生が変わる」

【著者本人】

「おそうじ」をすることで仕事・お金・人望・恋愛・運・家庭・人間関係・人生そのもの、すべてよくなる！」

「ゴミを一つ捨てる者は、大切な何かを一つ捨てている。ゴミを一つ捨てる者は、大切な何かを一つ拾っている」

「仕事は『気づき』じゃ。そして、そう

じは『気づき』を教えてください、最も安上がりで、最も簡単なトレーニングなんだ」

「そうじをすると売上げが上がるんじゃないよ。だがな、『売上げが上がるからおう』と思ったとたん、売上げが上がらなくなる」

「お金より大切なもの、それは一つのことをやり続けることの大切さ。辛抱することや、バカになって物事に打ち込むこと」

「気の遠くなるほどの量があっても、一億から一を引けば、残りは間違いなく9999万9999になる。そう信じてやるだけだ」

私がイナテックの企業理念の中で語らせていただいている一面ではないかと新年早々ドキッとしました。そして嬉しかった。もっとやろうと私の背中を押していただいた一冊であります。

今年も気持ち良く『おそうじ』してイナテック全員の人生を変えよう。今年も宜しく願っています。

レクサスLFA

(雑誌LEXUSより)

クルマの走りに関する不動の基本哲学(マスターテストドライバー(故)成瀬弘)

その一、クルマは道を選ばぬこと。街中でも高速でも田舎道でもアップダウンでも、どこでも気持ちよく走れなくては市販車として失格である。

その二、クルマは乗り手を守ること。クルマはいかなる局面に際してもドライ

バーの意思を裏切るような機械であってはいけない。例えどんなに高性能でも、市販車はレーシングカーではない。

その三、クルマの快感の母体は安心感であること。カミソリの上を走るようなスポーツカーの快感、心震えるような走りのフイーリング、しかしその魔力的魅力の前提として、絶対の安心感がなければいけない。